

2025 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社シグマクシス・ホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 太 田 寛
(コード番号：6088 東証プライム市場)
問合せ先 代 表 取 締 役 C F O 田 端 信 也
(E-mail：sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com)

シグマクシス社プレスリリース

「日産自動車のデータ活用基盤へのツール活用型 AI アシスタント導入を支援」

本日、当社の連結子会社である株式会社シグマクシスから下記のプレスリリースが発信されておりますので、お知らせいたします。詳細は別添資料をご参照ください。

記

- ・タイトル：シグマクシス、日産自動車のデータ活用基盤へのツール活用型AIアシスタント導入を支援

以 上

シグマクシス、日産自動車のデータ活用基盤へのツール活用型 AI アシスタント導入を支援

株式会社シグマクシス（本社：東京都港区、代表取締役社長：太田 寛、以下 シグマクシス）は、日産自動車株式会社（以下、日産自動車）の全社横断的なデータ活用の推進を目的としたエンタープライズデータサービスおよびツール活用型 AI アシスタント（注 1）の導入を支援しました。これにより、部門間のデータ連携を強化し、全社的なデータ利活用の高度化に資する環境を整備しました。

シグマクシスは、2019 年から日産自動車のデータ・分析基盤の構築支援を開始し、データカタログの整備やガバナンスルール・体制の構築など、データ活用の基盤強化を継続的に支援してきました。2021 年に日産自動車が立ち上げた社内向けデータ活用サービス“Data as a Service”（以下、DaaS）に対しては、事業部門のユーザー自身によるデータの継続的な利活用を支援するサービス組織の立ち上げや、ユースケースの作成とカタログ化を通じて、DaaS の実現に向けた取り組みを支援しました。

今回、2025 年 11 月から実運用が開始されたツール活用型 AI アシスタントの導入に際しては、アーキテクチャの策定や開発推進、データカタログやデータウェアハウスの継続的な改善も含めた、総合的な支援を行いました。複数の AI を DaaS に連携させることで、利用者がテキストで入力した課題に対して、AI アシスタントが膨大なデータから類似するユースケースとデータカタログを検索して最適なデータを提示することが可能となり、さらなる自律性を備えた AI エージェントの実現に向けた第一歩となりました。

シグマクシスは、データマネジメントならびに AI エージェントの知見を発揮し、今後も日産自動車の取り組みに伴走していきます。

（注 1）人間から出された指示に対して、AI 自身が複数のツールを使いこなすことで適切な回答を返すアシスタント機能

株式会社シグマクシスについて

企業のトランスフォーメーションを支援するコンサルティングサービスを提供しています。新規事業開発、先端技術活用、SaaS 導入・業務変革、プログラム＆プロジェクト・マネジメント等、多様な能力を擁したプロフェSSIONナルが、企業や組織の課題解決と新価値の創造を通じ、新たな産業の共創にも取り組んでいます。

詳細は <https://www.sigmaxyz.com/sx/> をご覧ください。

プレスリリースのお問い合わせ先

株式会社シグマクシス・ホールディングス

コミュニケーション&ケーパビリティ コミュニケーション 池田・伊藤

sxpr@sigmaxyz.com